

# 平成26年度 学校評価実施報告書

学校名( 乾隆小学校 )

## 1 平成26年度 重点評価項目

・基礎基本の学力、家庭学習の習慣化 ・人権意識、規範意識の醸成 ・家庭・地域との連携

## 2 1回目評価

<div> <div> ・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定  ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施  ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定 </div> <div> ・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理 </div> </div>						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成26年10月6日	評価日	平成26年10月10日
						評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学 校評議員による改 善に向けた支援策
1	確かな学力	基礎・基本の学力 家庭学習の習慣化	各教科での言語活動の充実 研究活動の推進 学校だより・懇談会等での啓発	教職員・保護者・児童アンケート 児童アンケート 懇談会等	「基礎的な学力が身につく取組が進められている」A,B評価91% 「宿題をしていますか」A,B評価96%	⇒ 全国学力学習状況調査については、全国平均・京都市平均を各テストで上回った。国語B以外は5点近い差があるので平均より上位と言える。 宿題の提出率はよいが、個によって課題がある。	発言内容をまとめることや自分の意見を作り出すことが苦手である。国語科に限らず、各教科で自分の考えや思いを発表したり書いたりする学習を充実させていくことが大切である。宿題の提出率が悪い児童への働きかけをしていく。	⇒ 授業で分からないことがあれば、「分かりません」と言える教室の環境づくりが大切。手が上げやすい環境になっているか確認し、理解できないままにしておかない、基礎の力をしっかりつけることが大切。	図書ボランティアの取組を応援していく。
2	豊かな心	人権意識・規範意識の醸成 豊かな体験活動の実践	ハートde乾隆の取組 人権の日の取組 ボランティア活動への参加	教職員・保護者・児童アンケート ハートde乾隆の取組 懇談会・縦割り活動の充実等	「集団での規律やマナーが身につく取組が進められている」A,B評価 すこやか学級等への参加も少しずつ増えている	⇒ 規範意識に関わる項目では、ハートde乾隆にがんばって取り組んでいる様子が分かる。 縦割り活動では、高学年がリーダーとしてがんばっている。	今後も規範意識醸成の取組を進めていく。 縦割り活動の取組も充実させていく。	⇒ 規範意識について問う項目については、年々よくなっている。	家庭・地域での日常のあいさつ等もしっかりできるようにしていく。
3	健やかな体	体力の向上	はだしの生活の実施	はだしの生活 体力テストの結果 定期健康診断等の結果	6月から前期終了時まで はだしの生活を実施	⇒ 校区内に公園がなく思いっきり体を動かす場所がないため体力の低下が危惧される。視力異常が全国・全市平均よりも上回っている。	土踏まずの形成と健康づくりのためはだしの生活に取り組んでいる。地域の方々も部活動の指導に携わり、5つの部活動を実施している。遠くを見る習慣を養っている。	⇒ 校庭の整備は、保護者・地域で協力している。	子どもの体力向上やスポーツへの興味関心を高めていくため部活動への協力を進めていく。
4	独自の取組	情報発信の充実 家庭・地域との連携	学校ホームページの随時更新 各種行事への教職員の参加等	学校ホームページへのアクセス数等 教職員・保護者アンケート	アクセス数の増加 「家庭・地域と協力して子どもの教育にあたっている」A,B評価99%	⇒ ホームページは、時間のあるときに意識して更新に努めている。 地域行事等についても無理のない範囲での参加を教職員に呼びかけている。	⇒ ホームページの更新・地域行事等の参加については、無理のない範囲で実施していく。	⇒ ホームページについては、積極的に更新しており閲覧状況も良好である。	育友会や楽童くらぶの取組等を通して保護者・地域がもっと交流、参加できる環境づくりを進めていく。